



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版 v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜西口浅川ビル新築工事	階数	地上9F
建設地	神奈川県横浜市西区南幸二丁目2番2、2番3、2番4	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 竣工	評価の実施日	2023年11月2日
敷地面積	475 m ²	作成者	(株)東横イン電建
建築面積	334 m ²	確認日	2023年11月7日
延床面積	2,595 m ²	確認者	(株)東横イン電建



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 89% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギーに配慮した設備を使用している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、宿泊者の快適性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 建築設備に伴う排熱の位置等に配慮した。
LR1 エネルギー	環境負荷に配慮し、効率の良い照明器具等を採用した。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用せず、敷地外環境へ配慮した。
Q2 サービス性能	カテゴリ5eのLAN配線を居室室内まで設け、高度情報通信に対応可能とする。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材を容易に分別可能とした。洗浄水に井水を利用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

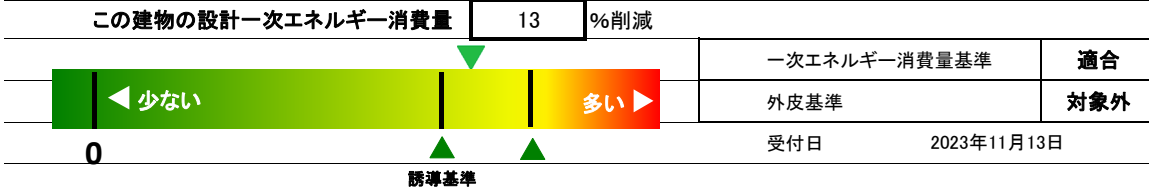


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)横浜西口浅川ビル新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①建物外皮の熱負荷を抑制する断熱材を採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯各種設備の配管は耐用年数の高い材質を採用した。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1
(仮称)横浜西口浅川ビル新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質									2.4	
Q1 室内環境									2.7	
1 音環境				2.6	0.15	3.0	1.00		2.8	
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.98	3.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.02	3.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-	
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	0.20		-	
2 温熱環境				1.7	0.35	2.2	1.00		2.1	
2.1 室温制御				2.2	0.63	3.0	0.63		-	
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57		-	
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43		-	
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.38	-	-		-	
2.2 湿度制御				-	-	-	-		-	
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.38	1.0	0.38		-	
3 光・視環境				2.4	0.25	3.0	1.00		2.8	
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30		-	
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.60		-	
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-		-	
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30		-	
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	1.00	3.0	1.00		-	
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.15	1.0	0.15		-	
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25		-	
4 空気環境				2.8	0.25	3.6	1.00		3.3	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		-	
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00		-	
4.2 換気				2.0	0.30	3.0	0.38		-	
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-	
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	5.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境	1.0	0.50	1.0	0.33		-	
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-		-	
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-		-	
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境	1.0	1.00	-	-		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.7	
1 機能性				2.4	0.40	2.6	1.00		2.5	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		-	
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	1.0	0.50		-	
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	5.0	0.50		-	
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		-	
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-		-	
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		-	
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-	
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-		3.0	
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-	
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-	
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-		-	
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-		-	
2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-		-	
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	1.0	0.20	-	-		-	
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.4	1.00		2.5	
3.1 空間のゆとり				-	-	1.8	0.50		-	
1 階高のゆとり				-	-	1.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				-	-	3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50		-	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-		-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-	



CASBEE横浜2022年版v.1.1
 (仮称)横浜西口浅川ビル新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.31	-	-			1.8
1		生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-			1.0
2		まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-			2.0
3		地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-			2.5
3.1		地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-			-
3.2		敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.0
1		建物外皮の熱負荷抑制		4.3	0.20	-	-			4.3
2		自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-			3.0
3		設備システムの高効率化		2.6	0.50	-	-			2.6
4		効率的運用		3.0	0.20	-	-			3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-			-
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-			-
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-			-
		集合住宅の評価		-	-	-	-			-
	4.1	モニタリング		-	-	-	-			-
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.0
1		水資源保護		2.2	0.20	-	-			2.2
1.1		節水		1.0	0.40	-	-			-
1.2		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-			-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2		非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-			3.2
2.1		材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-			-
2.2		既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-			-
2.3		躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-			-
2.4		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-			-
2.5		持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-			-
2.6		部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-			-
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-			3.3
3.1		有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-			-
3.2		フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-			-
	1	消火剤		-	-	-	-			-
	2	発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-			-
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.0
1		地球温暖化への配慮		3.4	0.33	-	-			3.4
2		地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-			2.8
2.1		大気汚染防止		5.0	0.25	-	-			-
2.2		温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-			-
2.3		地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-			-
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-			-
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-			-
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-			-
3		周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-			3.0
3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-			-
	1	騒音		3.0	1.00	-	-			-
	2	振動		-	-	-	-			-
	3	悪臭		-	-	-	-			-
3.2		風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-			-
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-			-
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3		光害の抑制		3.0	0.20	-	-			-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-			-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1		化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
2		適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
3		結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
4		犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-			-